

教えて!

市立病院



〈今月のドクター〉

外科長

芳賀淳一郎 医師

低侵襲外科手術とは、従来行われていた手術に比べて患者さんの身体に対する負担（侵襲）を減らした身体に優しい手術です。合併症をお持ちの人や、高齢者でも治療が可能になる場合もあります。当院では、低侵襲外科手術として鏡視下手術を積極的に行っています。鏡視下手術とは、腹腔鏡や胸腹腔鏡のカメラを使用した手術で、

〈第76回〉^{ていしんしゅう} 当院の低侵襲外科手術

■問合せ／市立病院総務課企画財務担当 ☎ 22-2450

開腹・開胸手術に比して術後の痛みが少なく、また傷跡も目立ちません。当科では、消化器がんの手術から、胆嚢結石や食道裂孔ヘルニア、直腸脱などの良性疾患、そして大人の^{たんのう} 兎径ヘルニアや女児の^{そけい} 兎径ヘルニアなど様々な疾患で、鏡視下手術を行っております。

今回のセミナーでは、当科での低侵襲手術への取り組みをご紹介します。ぜひご来場ください。



▲低侵襲外科手術の術中の様子

〈市民公開セミナーを開催します〉

■日時／9月28日(土)開場9時30分・開演10時

■場所／すこやかセンター ■費用／無料(申込不要)